

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
32111	町営住宅管理	建設水道課	住宅	漆戸芳樹	宮原 隆史
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2167
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0880	住宅管理事業
	第五次総合計画前期基本計画の施策 体系における位置づけ	章 (コード選択)		3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり
		節 (コード選択)		2節	快適なまちづくり
		項[基本施策] (コード選択)		1項	快適な居住環境の形成
		目[主な施策] (コード選択)		1目	公営住宅の計画的な整備
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	辰野町公営住宅等長寿命化計画
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町営住宅の入居者

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

①入居者に安心して住める住宅を供給する。
②安心安全で良好な町営住宅を、高齢者、障害者、母子世帯等に提供できるようにする。
③子育て世代の辰野町への定住化により、生産年齢世帯の増加を目指す。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 修繕の必要が発生した時に、速やかに業者委託または直営により修繕整備し、居住者の便を図る。
- 2 町営住宅の長寿命化計画を策定し、計画に基づいた修繕・改修を行う。このことにより居住者に、より良質な住宅を供給する。
- 3 健全な住宅管理の為に、住宅使用料の徴収率の向上を図る。
- 4 地域優良賃貸住宅の健全な管理を行い、共働き世代の定住化を図る。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	住宅修繕件数	件	50	46	50	0.92	50
	説明	住宅補修修繕数	目標値設定の根拠	実績から推計				
②	指標名	住宅入居世帯戸数	件	161	159	161	0.99	161
	説明	住宅入居世帯戸数	目標値設定の根拠	実績から推計				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	入居可能な居住数の割合	%	85	85	85	1.00	85
	説明	入居可能な住居/住宅管理戸数	目標値設定の根拠	除却、建設予定管理戸数				
②	指標名	住宅使用料徴収率(現年)	%	100	100	100	1.00	100
	説明	住宅使用料徴収率(現年)	目標値設定の根拠	実績維持				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度	平成23年度	平成24年度						
		決算	決算	見込み						
対前年比	%		97.6	95.4						
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	28,345	27,838	26,376						
B)一般財源(税金)	(千円)	5,710	5,410	5,334						
①事業費	(千円)	28,345	27,838	26,376						
対前年比	%		98.2	94.7						
②人件費の概算	(千円)	5,710	5,410	5,334						
対前年比	%		94.7	98.6						
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
		H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24	H22 H23 H24				
町職員(正規職員)	(千円)	0.04 0.04 0.04	0.10 0.00 0.00	0.52 0.61 0.62	0.00 0.00 0.00	0.66 0.66 0.66	5,710	5,410	5,334	
臨時職員	(千円)	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 信州型住宅リフォーム促進事業
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 団地の見回り等により入居者の声を聞く。管理人を通してニーズを把握。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

①老朽化した団地を解体し団地の集約をし管理の効率を図った。②健全な住宅管理のため住宅使用料現年度徴収率100%達成をめざす。③退去修繕を速やかに行い入居者募集を行う。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

老朽化した住宅の再生、除却、または建て替えを長寿命計画により進める。

24年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

団地の計画的な廃止ができました。生活の向上を行う上の住民アンケート調査を行い、文化的な生活として下水道の接続や再生を長寿命化計画により進めたい。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



b 上記 a~e を選択